

2.【Do】目標達成に向けた取組み状況

資料1-3

◆ 目標達成のための事業内容 ◆

● ・ ・ 具体的取組有り

目標	施策	事業	R7達成状況	R7取組状況
【目標1】 公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進	1.公共交通を「活用」する市民の意識づくり	1.観光列車やイベントでの市民による活動	○	沿線園児が列車に手を振る歓迎や、食堂車の乗客を日本大正村の方が駅で歓迎
		2.地域イベントと連携した公共交通の活用	○	JRさわやかウォーキング(6月、R8.3月予定)、まちなか市(5月10月)、みのりのみのり祭り(9月)、WRC(11月)、ウィメンズラリー(11月)、六斎市(R8.3月予定)等と連携
		3.SLの復元を通じた地域づくり	○	SL乗車体験(年4回/343名参加)、SL運転体験(年10回/193人)ふれあいイベント(R8.3月予定)、SLファンクラブ加入促進、SL復元準備委員会の設立(計1回)
		4.待合時間を有効活用できる結節点	○	R5.7より商業施設2Fに「恵那未来キャンパス」開設。20時まで利用可能
	2.公共交通を「支える」市民の活動促進	1.明知鉄道が有するさまざまな価値の発信	○	明知鉄道連絡協議会、交通会議にて情報発信、開業40周年事業の開催(記念フリー切符、デジタル鉄印、スタンプラリー、子ども無料デー11月)
		2.沿線環境の整備	○	地域住民による沿線景観整備・駅舎花壇の手入れ、阿木高、恵那農業高生による駅舎装飾(門松設置、イルミネーション)
		3.収入源の拡大	●	グリーン会員証、明知鉄道1日乗車券(市内バス無料)の販売(企画切符:SLデザイン、ジョルダン追加)、明知鉄道定期代補助制度の継続
		4.モビリティマネジメントの推進	●	公共交通シンポジウムの開催(R8.3月予定)、公共交通乗り方教室の開催(7回)、えーなワンコインパスポートの発行(210件/12月現在)、高齢ドライバー安全運転相談会の開催(5月)、高校通学モデルコースチラシの配布(中学3年生:10月)、高校生向けの公共交通利用促進チラシの作成配布(10月)、えーなまち得公共交通応援事業の開始(12月)、はたらくのりもの広場(R8.3月予定)、ふれあい列車の運行、食堂車の運行、あみもの列車の運行(新企画)、バス時刻路線マップの作成配布、PR動画の配信
	3.運転手確保に向けた取り組み	1.交通事業者との連携による募集活動	○	中津川・恵那おしごとフェア(8月)、バス運転手合同説明会(12月)への参加
		2.資格取得の奨励策の調査・検討	△	バス事業者による大型二種免許取得費用補助制度の実施
【目標2】 持続可能な地域公共交通ネットワークの形成	1.地域全体の総合的な公共交通ネットワークの形成	1.恵那駅周辺での循環線の新設	●	まちなか巡回バスの運行、シェアサイクルのステーション拡大(8月藤太郎、R8.1月岩村駅、茅の宿とみだ)
		2.バス路線の見直し	●	運行内容の改正【上矢作デマンド交通(3月 毎日運行、ミーティングポイント移設)、明智デマンド交通(3月10月ミーティングポイントの追加)、岩村デマンド交通(8月臨時運行 10月事業者変更 目的地の撤廃)】、山岡＝瑞浪線のバス停の移設と名称を瑞浪市コミュニティバスと統一(益見バロー前)、東濃鉄道明智の減便(10月)
		3.明知鉄道の1時間1本化	○	準パターンダイヤ一部設定
	2.快適な公共交通利用環境の整備	1.施設の更新	○	鉄道施設の整備、バス車両の更新(明智まちなか線:1両/5月)
		2.P&R、サイクルトレインの推進	○	サイクルトレインの実施(9件13名/4月～12月)
		3.鉄道・バス共通1日乗車券の発売	△	明知鉄道1日乗車券(提示で市内バス運賃無料)の販売 今後鉄道も含めて検討
	3.関係者との連携強化	1.恵那峡線・大井町東線・大井町西線・明智線の改善・利用促進	○	恵那峡線、大井町東・西線を地域公共交通会議の協議路線として一体的な利用促進を実施
		2.隣接自治体との関係強化・組織間ネットワークの充実	○	R5より東濃鉄道明智線を維持確保するため、恵那市及び瑞浪市と欠損金の一部を支援。R8,9も継続支援の協定を締結
【目標3】 域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備	1.当地域に適したMaaSの実現	1.運賃のキャッシュレス化	●	1日乗車券のキャッシュレス化をR5.3に開始。R7.3月自主運行バスのデジタル回数券及び定期券、PayPayの導入、東濃鉄道デジタル回数券の実施
		2.人とアプリによる「交通コンシェルジュ」	●	恵那市交通コンシェルジュ(人・WEB)をR4.10から運用開始。WEBサイトのデザイン変更及び機能の拡充
		3.日帰り旅コースの設置・運用	○	市交通コンシェルジュ内で公共交通を利用した「小旅」10コースを掲載。追加4コース作成中
		4.定額制乗り放題運賃・年間パスポート	○	市内バス1日乗車券をR5.3発売。えーなワンコインパスポートの販売継続
		5.モードを跨いだ運賃設定	○	市自主運行バスと東濃鉄道営業路線の運賃の統一をR5.3に開始
		6.移動データの取得	○	AI画像認識技術で映像を数値に変換した移動データの可視化を導入
	2.新たな技術を活用した付加価値の向上	1.自動運転の導入推進	○	東濃地域自動運転推進コンソーシアムの広域連携による自動運転EVバス実証実験運行(地区:岩村城下町 期間:10月～11月 利用者:710名)
		2.EV車両の導入推進	○	同上自動運転EVバス体験試乗会の実施、イベント時のc+podの試乗会
	3.バリアフリー化を通じたサービスアップ(現状維持から発展へ)	1.駅舎などのバリアフリー化	△	明知鉄道WEBサイトにおける駅の設備状況の公開
		2.ボランティア車掌の創設	✕	未検討
	4.観光列車の推進	3.外国語案内・バス系統番号の表示	○	コンシェルジュポータルサイト内一部外国語対応。バス系統番号を全バス車両に設置
		1.観光列車と広報・周知の充実	○	イベント時における観光列車の周知
	2.観光列車やイベントでの市民による活動(再掲)	○	事業1-1-1	